

副首都・大阪の確立に向けた検討メモ

野田 遊（同志社大学）

1. 理想の状態

- ・副首都の理想は、イノベーション力が高い状態（バックアップ機能は成長力が背景）
- ・イノベーションに直結する社会潮流（グローバル化とデジタル化）への対応

2. 強化すべきこと

- ・現状 ①マーケットや資源、面積が小さくパイの奪い合い
→グローバル化、デジタル化に対応できない人たちが管理する地域になっている
- ②放射状に発展していない
→多元的な行政主体

・強化すべきこと

①イノベーションを生む制度と文化の創出

→ 実力のある人、センスのよい人がより評価される制度・文化

例 若い人たちのセンスのよい新規のチャレンジ（事業創出）に投資

成果を上げる人への高い給料の確保

若い人たちを魅了する雇用の場

既得権益解消の予算配分、新陳代謝の促進 等

→ 中長期的には、話せる英語と使えるデジタル化に特化した実践教育

②効率性と民主的運営のための行政編成（市と府の統合）

→ 効率性確保に向け、

統合・連携検討、府と市の重複部門の排除徹底

→ 民主的運営に向け、

住民の有効感向上の仕組みと効果的な情報発信（行動行政学の知見活用）

以上